

えが お



感染症予防をしっかりと！

11月24日（火）に健康委員会による児童集会を行いました。感染症予防対策について、健康委員会がクイズ形式で全校児童に呼び掛けました。

《ソーシャルディスタンスについて》

感染を広げないためには、相手と1mほど距離をとりましょう。さらに感染が広がったら、今よりも相手との距離を広くとりましょう。



《飛沫が届く距離について》

「はっくしょん！！」くしゃみをすると、飛沫が5m先まで飛んでいきます。

ウイルスの模型が付いたテープを伸ばして、どれくらい飛んでいくか体感できるように工夫しました。



《手洗い・うがいについて》

手を洗う時のせっけんは、よく泡立てましょう。

うがいをするときには、のどの奥まで洗浄できるように、上を向いて「ガラガラうがい」をしましょう。

健康委員会では定期的に衛生検査を行い、ハンカチ、ちり紙、名札の着用、爪の切り忘れがないかをチェックしています。集会の中では、名札の着用を忘れていた児童が多いことも伝えました。

ハンカチ、ちり紙を持ってこることや、爪の長さを適切に保つことは、衛生的な生活を送るために大切なことです。

子供たちが毎日清潔なものを準備できるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。

新型ウイルスの3つの顔を知ろう！

お子さんと一緒に
ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症が流行しています。この感染症が恐れられているのは「3つの感染症」という顔があるからなのです。

第1の感染症 ～ 病気 ～

新型コロナウイルス感染症は、飛沫感染と接触感染で広がります。

飛沫感染



感染している人のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが空気中に飛び出し、別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

接触感染



ウイルスが付いたままの手で周りの物に触ると、そこにウイルスが付きます。そして、別の人がその物に触ってしまうと手にウイルスが付き、その手で自分の口や鼻を触ることで粘膜から感染します。

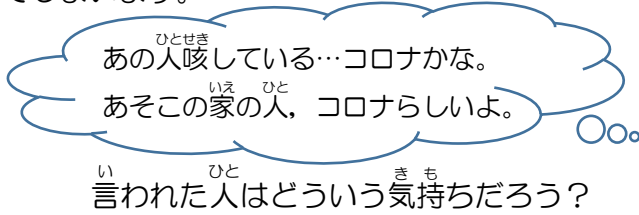
第2の感染症 ～ 不安と恐れ ～

このウイルスについてはわからないことが多いため、強い不安や恐れを感じ、振り回されてしまうことがあります。



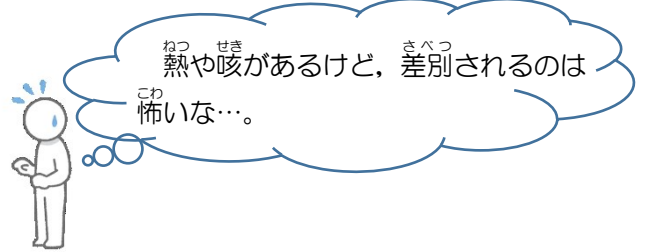
第3の感染症 ～ 偏見や差別 ～

感染に関わる人や対象を遠ざけたり、差別したりするなど、人と人との信頼関係や、つながりが壊されてしまいます。



あの人が咳している…コロナかな。
あそこの家の人、コロナらしいよ。

言われた人はどういう気持ちだろう？



熱や咳があるけど、差別されるのは怖いな…。

負のスパイラルで感染症が広がる

この感染症の怖さは、病気が不安を生み、不安が差別を生み、差別が病気をさらに広げることにつながる。

スパイラルを断ち切るために

第1の感染症 ～ 病気 ～

⇒ 感染症対策をしっかり行おう。
「手洗い・うがい」「咳エチケット」など



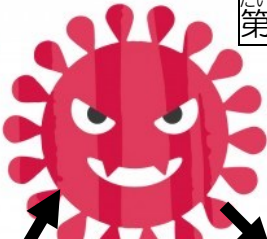
第2の感染症 ～ 不安と恐れ ～

⇒ 不安な気持ちと上手につき合おう。
「相談する」「楽しいことを考える」など

第3の感染症 ～ 偏見や差別 ～

⇒ 誰もが、感染症と戦っている仲間です。
相手が傷つくような言葉は言いません。

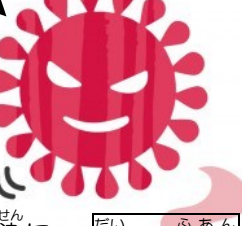
③ 差別を受けるのが怖くて、症状があっても病院にかかるか迷う。結果として感染が広がる。



① わからないことが多いため、不安が広がる。



② 不安から、感染にかかわる人を遠ざけようとする。



第3 差別

第2 不安

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって「3つの感染症」を防ごう！



《参考資料》 日本赤十字社 (令和2年3月26日)

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～